

〔曲名〕 Suite Campestre

田園組曲

1.Tramonte

黄昏

2.Nel Basco

森にて

3.Suona l'Angelus

夕べの鐘

4.Saltarello

サルタレロ

〔曲種〕 suite

組曲

〔作曲者〕 Amedeo Amadei

アマディオ アマディ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

マエストロ・アマディオの娘カルラさん（フェルラレーゼ未亡人）から待望の作品が届いたので、早速編曲に着手し、

之にプリモ・シルベストリの作曲等を加えて15集16集とした。

15集の田園組曲の方は編成を大きくしたのでこれ一曲となり、16集の方は新たに送られた中世の吟遊詩人組曲の第一、二楽章を加えて完全な形として、

之に小川の囁き（アマディオ）とシルベストリの追憶と無邪気な小綺想曲、ボッシ作の牧人の愁を加えた。

本曲田園組曲もタイトルはイタリア語フランス語ドイツ語英語が添えられてあるので日本語訳と併せて表紙裏に対照させておいた。

16集の方に載せておいたアマディオの作品表（現在の時点で判明している）から見れば

本曲は作品205番でかの著名な海の組曲より少し前の作品で今世紀初期のものと思われる。

アマディは晩年ずっとトリノーに定住していたがその故郷ロレートはかのロッシーニが生まれたペサロの町から数キロの所にあり、

其処の名家としてよく知られていると云う。

三代続いた作曲家で、故郷で生まれた若き日の追憶でもあろうか。

第四楽章のサルタレロはイタリアの舞曲として知られているが、このロレートのあるマルケ地方のサルタレロとは違ったものであることがカルラの手紙に述べられている。

第二楽章 森にて は明らかに小鳥の囀りを描いたもので、中間の牧歌調も却々に美しい。

第三楽章 タベの鐘 もあのミレーの名画を偲（しの）ばせる作品でロマンティストの本領を發揮した作品である。

16集の方の小川の囁（ささや）きもちょうど海の組曲時代のもので娘カルラは父がこの曲を作曲した時のことをよく知っているらしい。

大管弦楽曲になっているが即興的に短時間のうちに作曲されたものらしい。

マンドリン古典合奏曲集15集より